

主張

首都高速道路の都心環状線、日本橋区間の地下化について、本年3月31日に国土交通大臣から首都高速道路株式会社に対し事業許可が出され、本年秋頃の工事着手に向けて手続きが進んでいます。事業区間の延長は約1.8km、20年の工期を想定し、事業費として約3,200億円が見込まれています。

日本橋は、江戸幕府開闢の1603年に最初の橋が架けられ、1999年には国の重要文化財に指定されています。現在の石造りの橋は1911年に建造されたもので、親しまれている。現在の石造りの橋は1999年に建造されたもので、親しまれている。

日本橋の上空の首都高速道路は定されている。日本橋の上空の首都高速道路は定されている。

1963年に、翌1964年の東京オリンピックに間に合うように建設された。以来、首都圏の膨大な交通を処理する首都高速道路ネットワークの要としての役割を果たしている。一方で、首都高速道路の高架橋が上空を通り、戸時代以来の日本橋界隈の景観が失われたことを惜しむ声もあった。

都市景観に求めるもの

（首都高速道路）

日本橋区間の地下化から考える

この事業のスケールでは首都高速道路の地下化に必要な費用の一部を定された。その後、首都高速道路の老朽化対策として日本橋区間を含む大規模更新計画が定まったことや、日本橋周辺のまちづくりの取り組みが、国家戦略特区の都市再生プロジェクトに追加された機会を捉え、2017年3月に、国土交通省は、中京圏の高速道路を賢く使うための料金体系基本方針（令和元年12月）を踏まえ、令和2年2月に「中京圏の新たな高速道路料金」を発表した。

その後、中日本高速道路株式会社（以下、会社）及び名古屋高速道路公社（以下、会社）以

て、経路による最短距離を基本に料金を決定する方針（案）」を定めた。

今後、当面現行料金を継続した上で、名古屋第二環状自動車道の開通に合わせて新たな料金を導入する予定である。

下、会社において、パ

ブリックコメントを踏まえた詳細の検討を進め

たが、会社および会社から申請を受け、3月31日付

けで、会社に対して事業許可、会社に対して料金認可を行った。

今後、当面現行料金を継続した上で、名古屋第二環状自動車道の開通に合わせて新たな料金を導入する予定である。

下、会社において、パ

ブリックコメントを踏まえた詳細の検討を進め